

S CCT2017 Surgical

Complex Cardiovascular Therapeutics 2017

Dates

October 27 fri.-**28** sat., 2017

Venue

Portopia Hotel, Kobe, Japan

Update
Program

CCT Website <http://cct.gr.jp/>

Challenge and
Innovation 

S CCT2017 Surgical

Complex Cardiovascular Therapeutics 2017

会期 2017年10月27日(金)・28日(土)

会場 ポートピアホテル 本館地下1階 和楽

Course Directors

大川 育秀
豊橋ハートセンター
岡本 一真
明石医療センター
北村 英樹
名古屋ハートセンター
坂口 太一
心臓病センター神原病院
田端 実
東京ベイ・浦安市川医療センター
津久井 宏行
北海道循環器病院

代表

Course Objectives

心臓血管外科の手術成績は、年々向上し、合併症を有する患者さんや超高齢者に対しても安定した成績を提供できる時代となりました。手術成績向上には、知識や経験の蓄積とデバイスの向上などのScienceの部分と、外科医の技術であるArtの部分の両立が不可欠です。

一般的な学会が主にScienceの発展に寄与する機会であるとしたら、Artの発展に寄与して来たのがCCT Surgicalと言えるのではないかと思います。CCT Surgicalでは、ライブ手術とVideo Liveを柱とし、実践的な手術手技に焦点をあて、自由闊達なディスカッションを行うことに重きをおいて参りました。

2017年のライブ手術は、神戸大学 大北裕先生による弓部置換術を予定しています。Video Liveでは、神原記念病院 高梨秀一郎先生によるHOCMに対する外科的治療、ニューハート・ワタナベ国際病院 渡邊剛先生によるda Vinciを用いたRobotic Surgery、武漢アジア心臓病医院の菊地慶太先生によるMICS-CABGを予定しています。その他にも国際セッションや、最近の話題であるTAVIやオープンステントに関するセッション、メディカルイラストレーションの描き方講座など、参加者の皆さんに「来てよかった!」と言ってもらえるよう魅力的な企画が目白押しです。多くの皆様と神戸でお会いできる事を楽しみにしております。

CCT2017 Surgical
Course Director 津久井 宏行 (北海道循環器病院)

Information

参加登録

事前参加登録費 2日間 15,000円 (9月15日(金)まで)

当日参加登録費 2日間 18,000円 (研修医10,000円)

※研修医の方は、所属長による「研修医(4年目まで)であることを明記した」証明書をお持ちください。証明書の提示がない場合は、当日参加登録費をいただきます。

※学生の参加登録は無料です。当日学生証、またはそれに準ずるものをご提示ください。証明書の提示がない場合は、当日参加登録費をいただきます。

→オンライン参加登録 <http://cct.gr.jp/2017/>

Program at a glance

	10月27日(金)	10月28日(土)
9:00	Live Demonstration	Video Live
10:00	Live 弓部大動脈置換術 神戸大学 オペレーター 大北 裕	Video Live MICS-CABG 武漢アジア心臓病医院 オペレーター 菊地 慶太
11:00	Video Live HOCM 神原記念病院 オペレーター 高梨 秀一郎	Video Live ダヴィンチ手術 ニューハート・ワタナベ国際病院 オペレーター 渡邊 剛
12:00	Luncheon Seminar English Session 米国における 経カテーテル弁膜症治療の最前線	Luncheon Seminar 手術記録に生かす メディカルイラストレーション術
13:00	Session①	Session④ English Session
14:00	外科医のためのTAVI講座: そろそろ本気でTAVIやりませんか?	アジアのスター発見!
15:00	Session②	Case Presentation
16:00	弁周囲逆流に対する最新治療: カテーテル治療か外科治療か?	Session⑤
17:00	Session③	出血なければ3時間!? ~出血させないベントールの基部吻合法~
18:00	Evening Session	
19:00	CryoICEを用いたメイズ手術: My techniques, tips and pitfalls 共催: センチュリーメディカル株式会社	
20:00		

9:00~11:50 Surgical Live Demonstration

二年ぶりのCCT surgicalは白熱のライブ手術から始まります。今回は弓部大動脈置換術が確立される過程で中心プレイヤーとして活躍してこられた大北裕先生の集大成とも言える弓部大動脈置換術です。並行して、近年、HOCMの外科治療に積極的に取り組む高梨秀一郎先生による左室流出路心筋切除術のビデオライブを上映します。お二方の手術方針、こだわりテクニックや工夫など、その最前線を勉強しましょう。コメンテーターも、この術者お二人にコメントするにふさわしい当代のフロントランナーに集まっていたので、このライブでしか味わえないエキサイティングな議論をお楽しみください。

<p>Live 弓部大動脈置換術 中継施設: 神戸大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オペレーター 大北 裕 神戸大学 ●手術室コメンテーター 岡田 健次 信州大学 	<p>Video Live HOCM</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オペレーター 高梨秀一郎 榊原記念病院
---	---

<p>座長 津久井宏行 北海道循環器病院</p> <p>コメンテーター 小山 忠明 神戸市立医療センター中央市民病院 高梨秀一郎 榊原記念病院 道井 洋吏 札幌ハートセンター 福井 寿啓 熊本大学</p>	<p>大川 育秀 豊橋ハートセンター</p> <p>湊谷 謙司 京都大学 吉武 明弘 埼玉医科大学国際医療センター 和田 秀一 福岡大学</p>
--	--

12:00~13:00 Luncheon Seminar 米国における経カテーテル弁膜症治療の最前線 English Session

今回のランチョンセミナーでは、ニューヨーク大学のDr. Mathew R. Williamsを招待しました。Dr. Williamsは米国で初めてcardiac surgeryとinterventional cardiologyのトレーニングを終了した両刀使いの若手心臓外科医で、TAVRだけでなくあらゆる経カテーテル弁膜症治療の第一人者として活躍中です。インターベンションができる心臓外科医はこれから日本でも必要になってきます。自身のキャリアメイキングや米国での最新のカテーテル治療について、興味深い話が聞けると思います。

座長
坂口 太一 心臓病センター榊原病院

演者
Mathew Williams NYU Langone Medical Center, USA

13:10~14:40 Session 1 外科医のためのTAVI講座: そろそろ本気でTAVIやりませんか?

TAVIはすでにAS治療において標準的治療のひとつになっています。大動脈外科医がステントグラフトを無視できないように、弁膜症外科医もTAVIを無視することはできません。本セッションでは、TAVIの現状と将来展望、外科医のためのTF-TAVI、経皮的アプローチ、外科的アクセスのレクチャーに加えて、本音でハートチームを語るパネルディスカッションを企画しています。

座長
出雲 昌樹 聖マリアンナ医科大学
田端 実 東京ベイ・浦安市川医療センター

演者
TAVIの現状と将来展望
鳥飼 慶 大阪大学
ビギナーのためのTF, percutaneous approach TAVI
大野 洋平 東海大学
外科医がやるTFとTS, minimallist approach
細羽 創宇 豊橋ハートセンター
TAとTaoアプローチのコツとピットフォール
園田 拓道 九州大学

14:50~16:20 Session 2 弁周囲逆流に対する最新治療: カテーテル治療か外科治療か?

人工弁置換術後の弁周囲逆流に対する治療として、海外を中心にカテーテル的塞栓術が注目されています。本セッションでは、最新のカテーテル治療の適応、アクセス、方法、成績を学びます。同時に本邦の標準的治療である外科的治療についてもその適応、アクセス、方法、成績について学び、これからの弁周囲逆流治療の展望について議論します。

座長
小林順二郎 国立循環器病研究センター
原 英彦 東邦大学医療センター大橋病院

演者
外科的PVリーク閉鎖の成績
阿部 恒平 聖路加国際病院
経皮的PVリーク閉鎖の現状と展望
多田 憲生 仙台厚生病院
経心尖アプローチPVリーク閉鎖の現状と展望
小林順二郎 国立循環器病研究センター
経カテーテル塞栓に必要なデバイスとテクニック
片田 芳明 東京女子医科大学東医療センター

16:30~18:00 Session 3 オープンステントグラフトの活用

Open Stent Graft (OSG)の登場に伴い、大動脈瘤に対する外科的治療戦略は大幅に広がり、かつ、安全に施行可能となりました。OSGの適応や手術方法、合併症などについて議論を深めながら、TEVARとの使い分けや組み合わせ法などについて、ディスカッションをしたいと思えます。

座長
島村 和男 大阪大学
津久井宏行 北海道循環器病院

演者
超高齢化時代における低侵襲オープンステント内挿術
秦 光賢 日本大学
大動脈解離に対するオープンステント
内田 直里 兵庫県立姫路循環器病センター
オープンステントグラフトの適応と早期中期成績
山谷 一広 仙台厚生病院
オープンステントグラフトの活用法の多様性
大橋 壮樹 名古屋徳洲会総合病院
当院でのtotal arch with Frozen elephant trunk
加藤 雅明 森之宮病院
Surgical strategy of TAR with FET to prevent of SCI
山崎 琢磨 京都第二赤十字病院

18:10~19:10 Evening Session CryoICEを用いたメイズ手術: My techniques, tips and pitfalls

1987年にDr. Coxが考案されたメイズ手術が誕生し、今年でちょうど30年目にあたります。これまでに多くのデバイスや手技方法でのメイズ手術が開発されており、近年メイズ手術件数は増加しています。その中で、本邦でも2016年から新たな凍結凝固装置が使用可能となりました。本セッションではAtriCure社クライオアブレーションシステムの使用経験が豊富な先生方からテクニック、コツ、ピットフォールを学びます。

座長
田端 実 東京ベイ・浦安市川医療センター

演者
直視下MICSにおけるCryo ICE Maze手術
坂口 太一 心臓病センター榊原病院
Cryo ICEデバイスによるメイズ手術のさらなる進歩
山口 裕己 昭和大学江東豊洲病院

9:00~11:50 Surgical Video Live

2日目のビデオライブはMICSに焦点をあてました。今やMICS-CABGの第一人者として国際的に活躍されている菊地慶太先生に、多枝MICS-CABGのビデオライブを、また渡邊剛先生にはda Vinciを使ったロボット支援手術(OPCAB, MVP)のビデオライブをお願いしています。MICSが注目を集めるなか、実践的な議論ができるセッションにしたいと思います。

 MICS-CABG	 ダヴィンチ手術
<p>●オペレーター 菊地 慶太 武漢アジア心臓病医院</p>	<p>●オペレーター 渡邊 剛 ニューハート・ワタナベ国際病院</p>

座長

坂口 太一 心臓病センター榊原病院

夜久 均 京都府立医科大学

コメンテーター

小林順二郎 国立循環器病研究センター

宮城 直人 帝京大学ちば総合医療センター

下川 智樹 帝京大学

吉田 成彦 イムス東京葛飾病院

中村 喜次 千葉西総合病院

渡邊 剛 ニューハート・ワタナベ国際病院

南淵 明宏 昭和大学横浜市北部病院

12:00~13:00 Luncheon Seminar 手術記録に生かすメディカルイラストレーション術

手術記事に添えられた1枚のイラストは、手術内容を的確に伝える力を持っています。手術内容を的確に記録し、後世に伝達する上で有用な情報伝達ツールと言えます。しかしながら、3次元情報を2次元情報に落とし込む作業は思いの外難しく、多くの外科医が「もっと、上手にイラストを描けないものだろうか」と感じているのではないのでしょうか。本セッションでは、メディカルイラストレーションの描き方を学ぶ機会としたいと思います。

座長

津久井宏行 北海道循環器病院

演者

末次 文祥 末次医院

菅 徳子 メディカルイラストレーター、(株)レーマン代表

13:10~14:40 Session 4 アジアのスター発見!

English Session

Asia-Pacific地域は世界人口の約4割という膨大な人口を擁し、世界のGDPの約6割を占める、いま世界で最も重要な地域です。当然、心臓血管外科の分野でも世界に向けてしっかりと発信している若手外科医がいます。世界的にimpactを与える学術誌の編集委員であったり編集者として既存の欧米エスタブリッシュメントの壁をどう打ち破るのか? Asia-Pacificにおける人材交流やトレーニングプログラムの共有をどのように考えるか? 彼らのユニークで前例にとられない姿勢からAsian-Pacificの心臓血管外科の未来像が見えてきます。

座長

浅井 徹 滋賀医科大学

岡本 一真 明石医療センター

演者

A Surgeon is not merely an operator, but a master of craft operating with hands, mind and heart

Tristan Yan Royal Prince Alfred & Sydney Adventist Hospitals, Australia

昼耕夜語: Humble way of developing future

Joon Bum Kim Asan Medical Center, Korea

How to set up Robotic Mitral Program

Nai-Hsin Chi National Taiwan University, Taiwan

14:50~15:20 Case Presentation

CCT2017 Surgical では「手術での工夫」をテーマにし、「こうして危機を脱した1例」など、学会では取り上げにくい症例を募集いたしました。本セッションでは、応募症例の中から選出された優秀4症例のケースプレゼンテーションの後、最優秀演題が選出され、受賞者には表彰状および記念品が贈呈されます。

座長

岡本 一真 明石医療センター

田中 裕史 神戸大学

西 宏之 大阪警察病院

演者

TF-TAVIに伴う弁輪破裂を含む多発合併症を生じ、救命できた一例

河野 裕志 東京ベイ浦安市川医療センター

開心術止血困難症例に対してリコンビナント活性型第VII因子製剤が有用であった2症例

早川 真人 北海道循環器病院

アクセスルート不良な破裂性胸部大動脈瘤に対するEXCLUDER leg血管外留置アクセス確保

森崎 晃正 大阪市立大学

LVASが極めて有効であった大動脈閉鎖不全症合併急性大動脈解離の一救命例

山本 晃裕 福島県立医科大学

15:30~17:00 Session 5 出血なければ3時間!? ~出血させないベントールの基部吻合法~

自己弁温存の基部再建が盛んになりつつありますが、Valve conduitを用いたベントール手術も重要な術式の一つです。基部再建手術では、基部からの出血があると、止血が非常に困難で時間を要します。出血が無く、再現性がありSpeedyな吻合法とはどんなものなのか?

今回は、ベントール手術での基部吻合法のような工夫を、エキスパートの先生方に紹介していただきます。“出血さえなければ3時間くらいで終わらせるのに・・・”、そんな忸怩たる思いを払拭するために、エキスパートの先生方の様々な工夫をぜひご覧いただき、是非とも理想を現実にご覧ください。

座長

北村 英樹 名古屋ハートセンター

國原 孝 心臓血管研究所付属病院

演者

Wide collarを用いた基部2層縫合

小山 忠明 神戸市立医療センター中央市民病院

連続縫合による基部吻合

北村 律 北里大学

マットレス縫合の特性と出血の回避法

伊藤 敏明 名古屋第一赤十字病院

Mini-Bentall Procedure - the “French Cuff” technique

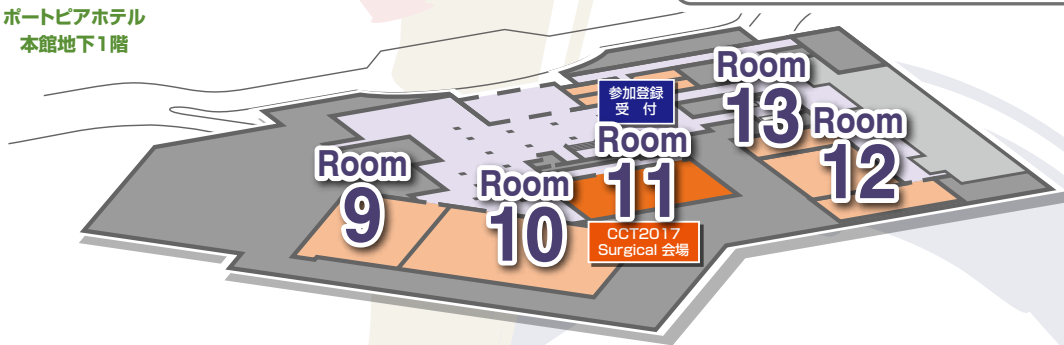
Tristan Yan Royal Prince Alfred & Sydney Adventist Hospitals, Australia

Venue

ポートピアホテル 本館地下1階 和楽



ポートピアホテル
本館地下1階



CCT Administration Office

1-1-5-2E, Maedaminami-machi, Toyohashi, Aichi 440-0851, Japan
Tel +81-532-57-1275 Fax +81-532-52-2883 E-mail secretariat@cct.gr.jp